

II

研究

推進分野の背景と方向性

近年、多様な課題に直面することで世界的にイノベーションの創出が加速しており、高等教育機関である大学に対しては新たな価値創出への貢献が求められ、これに向けた動きが活発化している。多くの学部・研究科を有する本学においても、「UMEMURA VISION 2033」に示す目指す学園像「学術の進化と深化」、「教育と研究の調和」、「地域の学びに貢献」の実現のため、特色ある研究活動をさらに推進・加速することで研究力を向上させ、中京大学ならではの専門知・総合知をもってグローバルあるいは地域特有の課題へ挑戦し続けることで、社会に必要不可欠な大学を目指していく。また、「知の拠点」として国・地方自治体・企業・他大学といった様々な連携先との協働により、相互の発展を可能とする場を形成し、時代や社会の要請に応えうる人材の育成と輩出に寄与する。



推進事項 1

建学の精神に基づいた
中京大学の専門知・
総合知による研究の推進

多くの学部・研究科を有する総合大学として、各分野の特色ある研究活動の加速及び分野横断型の共同研究をもって本学の専門知・総合知による研究拠点を形成し、当該拠点を中心としたさらなる研究活動の促進を実現させる。さらに、研究IRを活用した研究推進総合計画(リサーチビジョン)を策定した上で、持続的な研究力の向上を目的に研究活動への支援を行い、建学の精神のもとで進められる研究活動の成果を適切に社会に発信することで本学の研究ブランドを高め、社会に必要とされる大学を目指す。

主な施策

- 1 中京大学の知が結集した研究拠点の形成によるさらなる研究活動の発展
- 2 社会への適切な情報発信の実現
- 3 長期的なりサーチビジョンに基づく多様な研究分野に応じた研究活動の推進

推進事項 2

研究支援体制の
さらなる充実

本学の研究力強化には自発的で挑戦的な研究や将来的に本学の研究ブランドとなり得る萌芽的な研究の加速支援、あらゆる分野への持続的な研究サポートや研究者のライフイベント等への対応などが必須であり、それらを総合的に支援するための専門的知識を有した支援人材の育成、活用が必要となる。さらに、研究者が安心して研究活動に従事できるよう、研究活動に伴うリスクマネジメント環境の整備を一層進め、研究の健全性や公正性の向上を通じて本学の研究に係る社会への説明責任を果たしていく。

主な施策

- 1 研究者の成長や萌芽的研究への挑戦を促進する研究支援制度の展開
- 2 健全な研究風土の醸成と安心・安全な研究環境の整備
- 3 幅広い研究支援に対応できる専門人材の雇用と育成

推進事項 3

外部機関との
相互連携強化

研究成果を社会に還元することが大学のミッションである。波及効果が期待できる研究成果の創出による社会発展に寄与するため、国・地方自治体・企業・他大学等との連携をこれまで以上に強化し、地域課題をはじめとした多岐にわたる社会課題の解決に挑戦していくことでその使命を果たしていく。また、産官学連携活動の中で多様なステークホルダーと共に成長していくことでより高度な専門性を有した人材の育成を促進し、未来に向けた社会のイノベーションに貢献する。

主な施策

- 1 中京大学の専門知・総合知を最大限に活用した産官学連携の強化
- 2 産官学連携における研究者間の交流の促進と社会課題の解決への寄与
- 3 産官学連携を通じたOn the Project Trainingによる高度専門人材の育成と社会への輩出